

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol.84
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン



まちづくり協働プラザとは？

NPO法人をはじめとする市民活動団体を育成・支援するために、平成16年1月に、「徳島市市民活力開発センター」が設置されました。現在は「徳島市まちづくり協働プラザ」に改称し、徳島駅前アミコビル7階にて、協働によるまちづくり活動及び市民活動促進のための業務を行なっています。

開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

休館日

月曜日 ※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日
年末年始・お盆

連絡先

[TEL] 088-611-3886

[FAX] 088-624-3860

[mail] machipura.tokushima@gmail.com

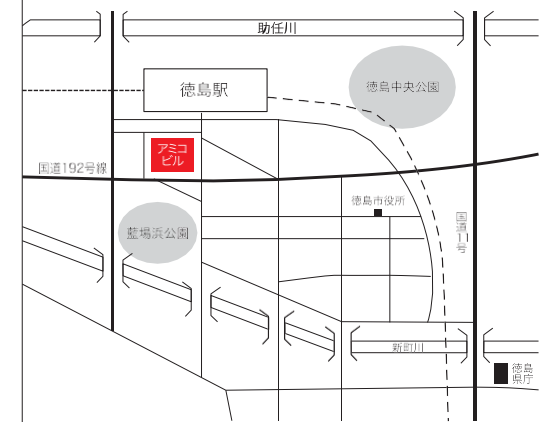
HP



Facebook



ACCESS MAP

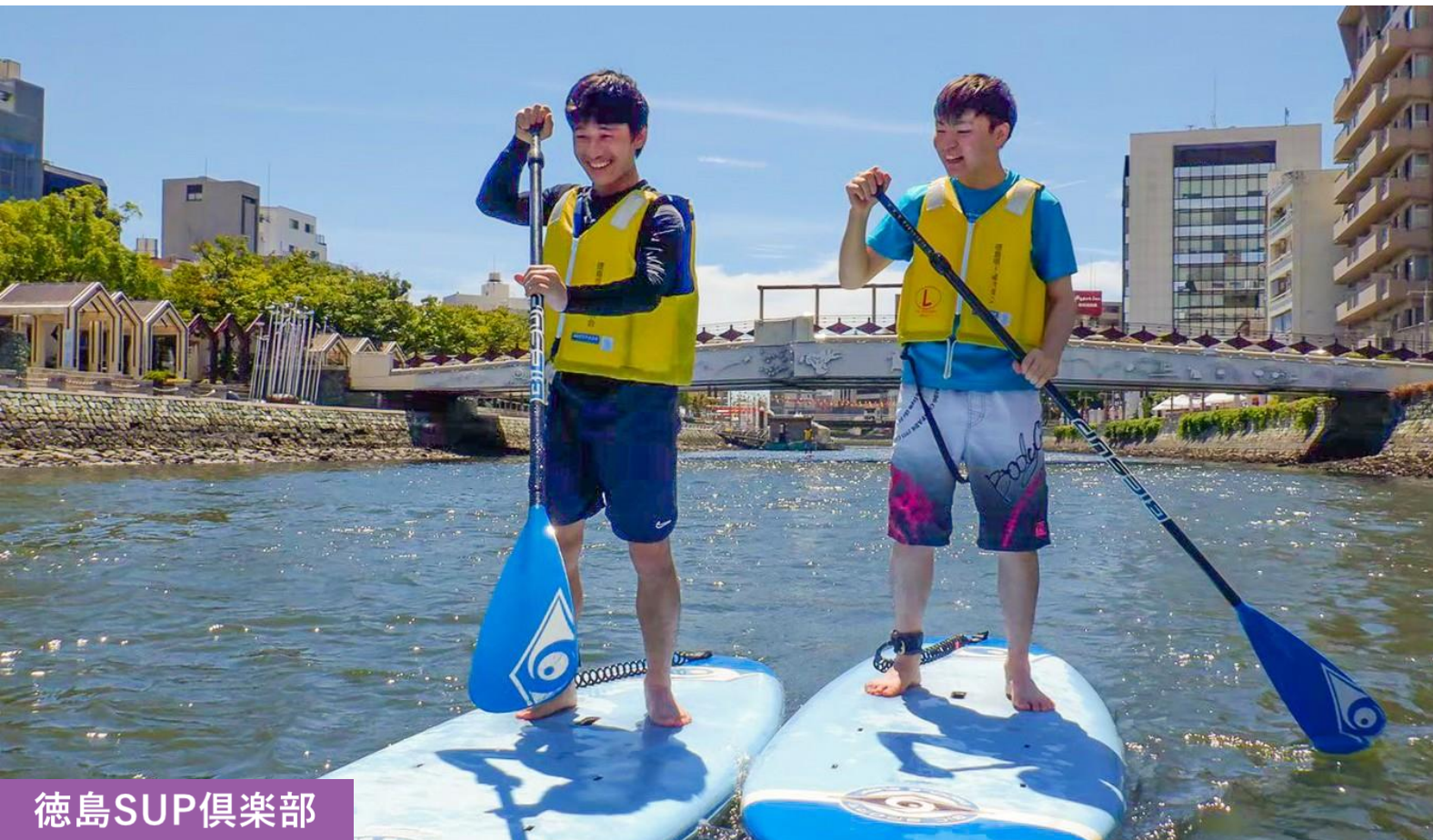


所在地

〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1丁目5番地
アミコビル東館7階

お車・バイク・自転車でお越しの方

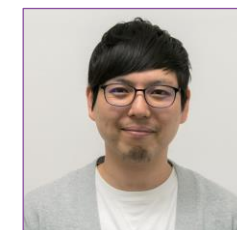
アミコラインパークの駐車場・駐輪場、
もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。



徳島SUP倶楽部



スペシャルオリンピックス日本・徳島



マネージャー 岸田 侑

助成金申請のサポートや、
NPOと行政、NPOと若者との
マッチングなどに注力していま
す。ぜひご利用ください。



事務局長 長谷川 隼

広報誌や会計事務を主に担当
しています。会議室や機材の利
用、お悩み相談でも、いつでも
気軽にお越しください。

PASSPORT.

発行月：2023年2月 号数：84号 発行：徳島市まちづくり協働プラザ
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市まちづくり協働プラザ
(088-611-3886)までご連絡下さい。

イベント情報大募集！！

PASSPORT.への掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市まち
づくり協働プラザの掲示板へ配置させていただく情報を随時募
集しております。「取材に来てほしい!」「こんなイベントするよ!」と
いったお声をお待ちしております!!





水都徳島でSUPをする理由 想いを次世代へと広げる、繋げる

SUP とは？

SUP (Stand Up Paddle Board)とは、浮力の強いボードの上に立ちパドルで漕いで水面を進んでいく水上アクティビティで、誰もが気軽に楽しめるアクティビティです。そんなSUPを始めた経緯や、その先にある想いを『徳島SUP倶楽部』の南里尚志さんに話を伺いました。

自然と注目を浴び、「あれ何？」から「あれSUPやん」と認知度の変化も感じられたと言います。そういった積み重ねから、SUPの利用者が徐々に増えてきていると感じています。

意識は環境問題にも

ウィンドサーフィンやSUPをしていくうちに、今まで見えていなかった環境問題がダイレクトに自分の中に入ってきたという南里さん。若い頃はただ単にドライブしたり、飲みに行ったりするのが面白いと感じていましたが、自然の中で遊ぶようになって環境についての気づきや学びがあり、考え方が180度変わったそうです。南里さんは現在、SUPをしながら新町川のごみを網ですくっています。「僕が先頭をきつていかないと、誰も動かんかもしれん。僕はやるわけにはいかない。」そんな南里さんの姿を見て、SUPに通うメンバーも個人練習のついでにゴミを拾うようになりました。先頭を切って長くコツコツと続けていく自分の姿を見て、強要してないのに自然としてくれることがとても嬉しいと南里さんは言います。

広がる、繋がる、変わる

活動をしていると、写真を撮ってSNSに載せてくれる人や、わざわざ足を止めて「ありがとう」と言ってくれる人がいて、こういった出来事が活動の励みになっているそうです。また、地域の人からごみがたくさんあるところを教えてくれることもあり、そういった交流があることも面白いと言います。「そういう風に、ちょっとした人の目に触れて、ちよつとずつ人が集まってきて、次の世代へと繋がり、少しずつ環境が変わってくれたらいいなあと思う。」また、南里さんはSUP体験に来てくれることが一番の喜びだそうです。体験からSUPの愛好者になるかもしれないし、環境問題について何か伝えられるかもしれない。何よりもSUP体験が、次へと繋げていく可能性を生むと南里さんは言います。『Funride徳島』では、SUP体験を実施しています。誰でも楽しめるようになっているので、ぜひSUPの楽しさを体感してみてください。



INFORMATION

徳島SUP倶楽部

SUP(スタンドアップパドルボード)を通じて新町川清掃や環境を考えながら活動をしています。初心者さんから上級者さんまで安全に留意し水上アクティビティを楽しんでいます。

[TEL・FAX]
088-674-7198

[Email]
funride.tokushima@gmail.com



HP



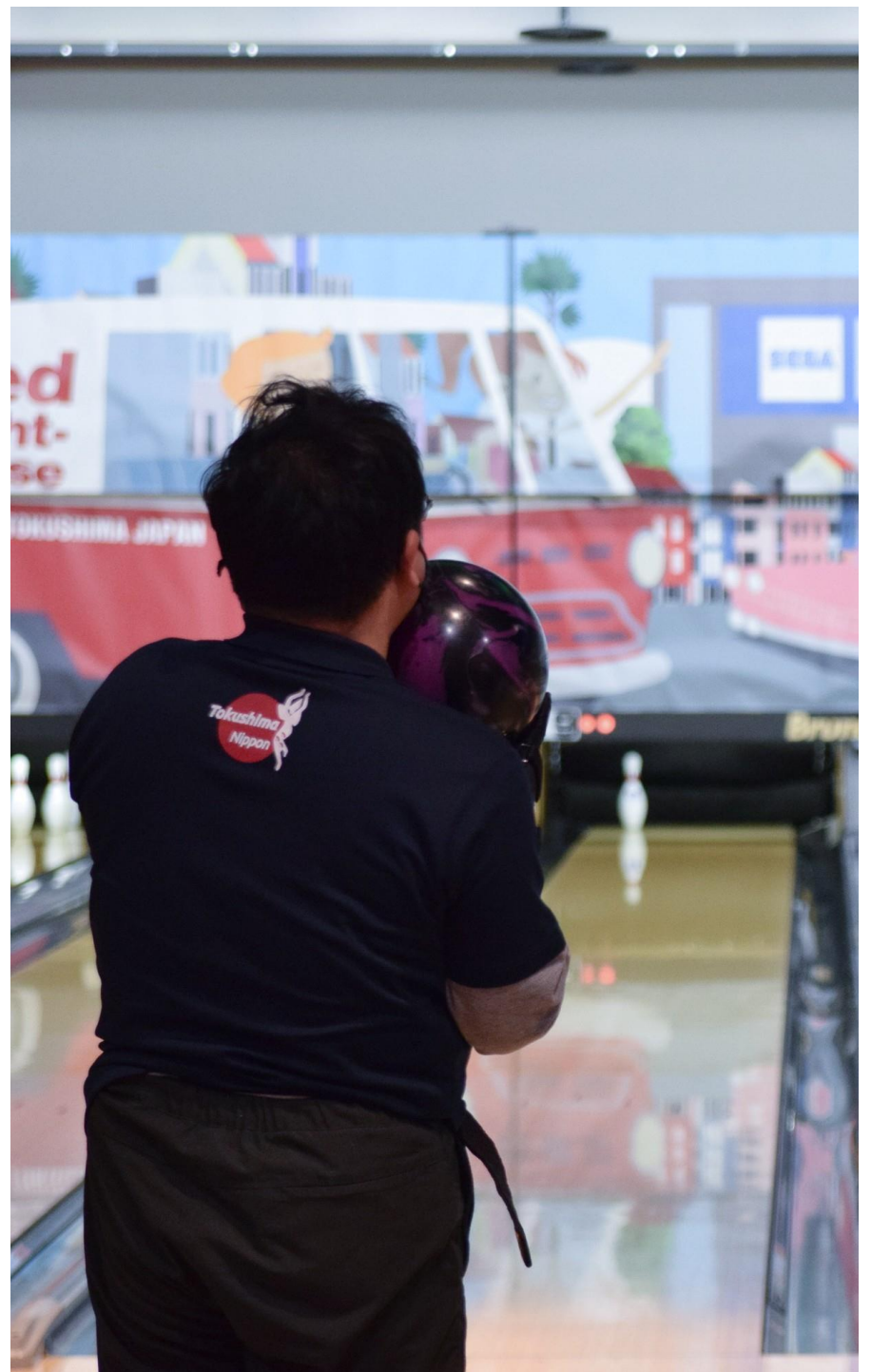
Facebook

徳島SUP倶楽部

「日常生活と離れたところで遊ぶって、すごい楽しいでしょ。あの空間が楽しいんよ。」穏やかな笑顔でSUPの魅力語るのは、『徳島SUP倶楽部』の南里さん。元々、ウィンドサーフィンといったマリンスポーツが好きで、地元の石井町でウィンドサーフィショップの経営をしていました。現在は、新町川の脇にある『Funride徳島』でSUP体験スクールやショップを運営しています。

SUPの可能性

風や波の力を使って動きのあるマリンスポーツとは違い、風も波もない穏やかな水辺でするSUPに最初は楽しめなかったものの、まったりとした雰囲気意外と楽しいことに気づいた南里さん。SUPでひょうたん島を一周していたところ、高校生からお年寄りまで、たくさんの人から話しかけられ、SUPの説明をし、「SUPは必ずブームになる！」と感じたそうです。また、「水都徳島」といわれている割には、川の活用がされていない現状にもつたいないと感じ、2015年に石井町からひょうたん島へと店を移転し、そこでSUPを本格的に始めました。SUPをしていると



スポーツを通して成長 関わる人の心も社会も豊かに

スペシャル オリンピックス

『スペシャルオリンピックス日本・徳島』とは、活動に参加する知的発達障害のある人（以下アスリート）がスポーツを通して楽しみながら健康の増進、充実感、達成感を得られ、アスリートとファミリーが共に成長することを目指しています。一体どんな想いを持って活動をしているのか、理事長兼コーチである田所健作さんにお話を伺いました。

関わる人全員にとって 良い社会を

機会もあり、その先で県外のアスリートと仲良くなり、人と人との繋がりが大事だということが分かっていっているのではないかと田所さんは感じています。「みんな最初から器用だとか上手ではない、少しずつ自分達が成長していくというのをなんとなく自覚できているところを、教える立場として感じられる。そういうのが惹きつけられるし、やりがいを感じられますね。」SOとの出会いは、上司の紹介からという田所さん。バスケ、テニスの経験があったことから、指導の手伝いに初めて行き、アスリートたちの素直さ、取り組み真剣さ、そして成長していく姿にやりがいや喜びを感じ、コーチとして優しく、明るく、真剣に指導をしています。

SOの使命

SOは、トップアスリートの育成を目指しているのではなく、様々なスポーツを通して自立性や社会性を育んでいくことを目指しています。スポーツはあくまでも成長のためのツール。勿論、アスリートの人たちも勝ちたいという気持ちがあります。勝利を目指していく中で、コミュニケーション能力や社会性を育んでいくことが大きな使命となっています。

アスリートは、活動を共にするコーチやボランティアの人と関わることで、新たな価値観に触れ、日々のモチベーションになるそうです。また、新しい人が来ると喜び、活動も活発になります。さらに、田所さんは「アスリートがSOに入っていることで、職場内でも認められる社会になっていけばいいなあ」と言います。さらに、アスリートと関わることで、障害を持つていない人にも知的発達障害の理解が深まり、心も社会も豊かになることを田所さんは望んでいます。しかし、SOは若い人の新規入会が少なくいそうです。SOの活動が衰退していかないように、SOに関わってくれる人を増やしていきたいと言います。スポーツ経験がない方でも、自分ができるやり方でSOに関わることが出来ます。アスリート、コーチ、ファミリー、ボランティアも随時募集中のことですので、詳しくはHPをご覧ください！

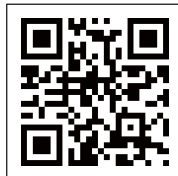
INFORMATION

スペシャルオリンピックス 日本・徳島(SO)

スポーツ活動をする知的発達障害のある人たち(アスリート)に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。

[TEL]
088-634-3173

[Email]
office@son-tokushima.or.jp



blog



Facebook



HP

活動のやりがい

今では仲良く競い合っていますが、以前、アスリートはライバル心を燃やし、人の失敗を喜んでいたそうです。しかし、自分が成功したときに褒められたり、失敗したときに励ましてくれたりする中で、その嬉しさに気づき、アスリートは精神的に成長していきましました。また、県内外の様々な競技会に出場する

プログラムの様子

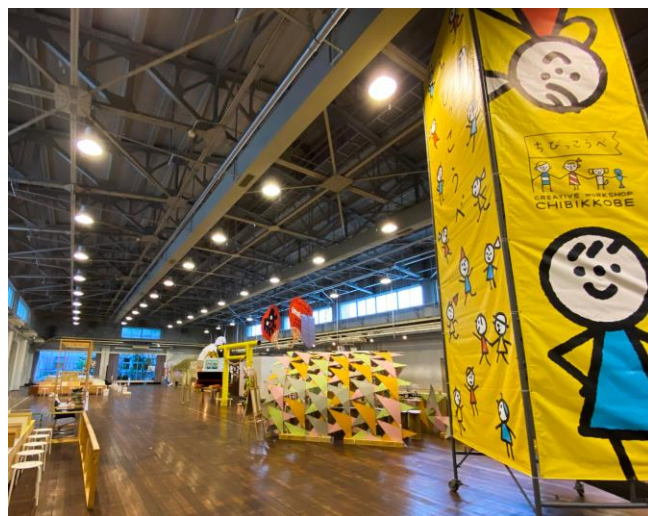
『スペシャルオリンピックス日本・徳島(以下SO)』では、バスケットボールやバドミントン、陸上競技や競泳、ダンスなど、様々な競技を行っています。取材へ伺った日のプログラムはボウリング。今回のプログラムでは、コーチの田所さん、アスリート8人とそのファミリーが参加しており、「いけ！頑張れ！」と応援し合っていました。ピンを全て倒すと「ナイス！」とグータッチして喜び合ったり、「あー惜しい！」と共に悔しがったりと、仲睦まじく全員でボウリングを楽しんでいる様子が伺えました。また、「今どこ狙ったん？」とアスリートに問いかけ、より上手くなるために指導する田所さんの様子や、アスリートのスポーツに取り組む真剣さも見られました。



NEWS 01

交通エコライフキャンペーン

令和4年10月29日、徳島県渋滞対策協議会が主催する「交通エコライフキャンペーン」が行われました。今年度は徳島バスの創立80周年記念イベントも兼ねることになり、例年行なっている「お絵描きバス」のデザインを県内の小学生から募りました。子どもが自由な発想で描いたデザインを四国大学フレンドリーキッズクラブの学生が実際に描くデザインへとデフォルメし、イベント当日には会場へ訪れた子どもたちが色を塗るのを隣で補佐しました。お絵かきバス以外にもいくつかの子どもむけミニゲームのブースを展開し、会場は賑わいました。



NEWS 02

スタッフ研修

徳島市まちづくり協働プラザの職員である長谷川が、神戸市にある『デザイン クリエイティブセンター神戸 (KIITO)』へ訪問しました。今後の事業展開について参考とするべく、企画事業部門統括マネージャー加藤慧氏に話を伺いました。特に「CREATIVE WORKSHOP ちびっこうべ」は、まちづくり協働プラザがとくしま県民活動プラザと共催で開催している「ぷらざタウン」と類似するイベントであり、イベント内容や運営体制において取り入れることができそうなものがありました。ぷらざタウンだけではなく、他の取り組みにも今回の研修で学んだことを役立ていき、更なる発展を目指します。

NPO法人と一般社団法人

2022年11月から活動をしている「AWAP学生クリエイターズ(以下ASC)」。
ASCでは一体どんな活動をしているのでしょうか？ AWAP代表の浅野沙織さんに尋ねてみました。



Q ASCとは何ですか？

ASC(AWAP学生クリエイターズ)とは、徳島県内の学生と一緒にクリエイティブ活動を行うプロジェクトです。取材の仕方や、カメラ、ライティング、デザイン、SNSマーケティングなど、取材・コンテンツ制作・発信に必要な技術を学べる場となっています。そして、学んだことを活かして、徳島で活躍する大人を取材し、制作したものをフリーマガジンAWAPに掲載します。

浅野 沙織

学生時代、「デザインでモノを売る」経験に興味を持ち、独学でデザインを学ぶ。雑誌編集、インハウスデザイナーを経て2015年独立・開業。グラフィックデザイン、WEBデザイン、映像制作、SNS運用代行、SEOコンサルティングなどの事業を展開している。また、2018年『徳島ローカルフリーマガジンAWAP』を創刊。以来徳島の若者や企業とタイアップするなどして様々なコンテンツを発信している。

Q 始めようと思ったきっかけは？

AWAPはコロナ禍で取材ができない状況が続いており、休刊していました。そんな時に、「徳島で夢を追いかける若者を増やす」というコンセプトを更に体現したメディアにリニューアルしたいと思うようになったことがきっかけです。私たちではなく、「若者が、若者に取材して、若者目線で、若者に伝える」ことが大事だと思うので、ASCを始めました。また、今の若い世代の特徴は、保守的な人、意欲的に前進する人のどちらかに二極化していると感じています。保守的であることは、悪いことではないけど、これからの時代に適応するのは難しいと思うんです。小さなきっかけからでも大きく変わることがあると思うので、一緒に学び、一緒につくる場である「AWAP学生クリエイターズ(ASC)」を始め、若者に夢を追いかけるきっかけになればいいなと思います！

Q これからの展望は？

現在は「0期生」と共に試験的に研修・取材をしながらブラッシュアップをしている状況で、座学と実技をASCのメンバーのみが受けられる形態で行なっています。今年の4月からは、1期生を募集し、本格的にスタートをしていきます。今と違う点は、ASCメンバー以外の人も、座学部分をクリエイティブセミナーとして受講できるという点です。まだ計画中ではありますが、近年は、広報人材を社内育成したいというニーズが増えてきているので、より多くの人に学べる機会をつくっていきたいです。

